

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	住之江区
学 校 名	安立小学校
学校長名	奥田 ユキミ

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・安立小学校では、第6学年 78名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

本年度の本校の正答率において国語科68%、算数科61%、理科59%となりました。大阪市平均（国語科65%、算数科58%、理科55%）及び全国平均（国語科66.8%、算数科58%、理科57.1%）と比べて、全科目で上回ることができました。このことから本校の6年生児童は、平均的な学力を備えている児童が多いことがわかりました。

また、無回答率においても、国語科1.4%、算数科1.5%、理科1.1%となり、大阪市平均及び全国平均よりも下回り、問題に対してあきらめずに取り組もうとする姿勢が現れています。

数年前より、学力向上に向けて取り組んできたことが、成果として現れていることがわかりました。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

「言葉の特徴や使い方」「読むこと」において、大阪市及び全国平均を5ポイント以上、上回っています。これは、学校図書館司書を中心に、図書室を整備し、「読みたい」本を増やしたり、各学級で読書時間を設定したりするなど、読書に触れる機会を増やしてきた成果であると考えられます。

反対に「情報の扱い方」「話すこと・聞くこと」において、大阪市及び全国平均を5ポイントほど下回っています。必要な情報だけを取り出したり、話を聞いて大事なポイントだけをメモにしたり、話を受けて自分の考えをノートに書いたりするなどの学習を増やしていく必要があります。また、スピーチの機会を増やすなど、普段の学校生活において「話す」「聞く」活動を積極的に取り入れていきます。

〔算数〕

すべての領域において、大阪市及び全国平均を上回っています。

「数と計算」においては、放課後ステップアップ学習をはじめ、プリント学習などの復習する機会を多く設定した成果であると考えられます。今後も宿題等で復習する機会を設定していきます。

「図形」に関しては、苦手意識の強い児童が多いです。タブレットを用いるなど、視覚化できる手立てを増やし、児童がイメージしやすいように学習を進め、学力定着を図っていく必要があります。

〔理科〕

全体として、大阪市及び全国平均を上回っています。特にA区分「生命を柱とする領域」において、大阪市及び全国平均を約10%ほど上回る結果となりました。専科制を取り入れ、観察や実験など体験的活動を多く取り入れた結果といえます。しかし、B区分「エネルギーを柱にする領域」において、大阪市及び全国平均を下回る結果となりました。電気、磁石についての理解が不足していることがわかりました。

質問調査より

基本的な生活習慣に関する項目において、肯定的回答が大阪府及び全国平均より高く、基本的な生活習慣が整っている家庭が多いです。しかし、「自分には、よいところがある」「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」の項目では、肯定的な回答が大阪府および全国平均より低いです。特に「自分には、よいところがありますか」の項目における数値が低く、自尊心の育成が今後の課題となりました。また、家庭学習の時間やタブレットを使うこと、新聞を読むことの少なさが顕著に表れています。今後、家庭においてタブレットを用いた宿題を取り入れていきます。

今後の取組(アクションプラン)

今回の成果を持続していくために、今までの取り組みを継続するとともに、深化させていきます。

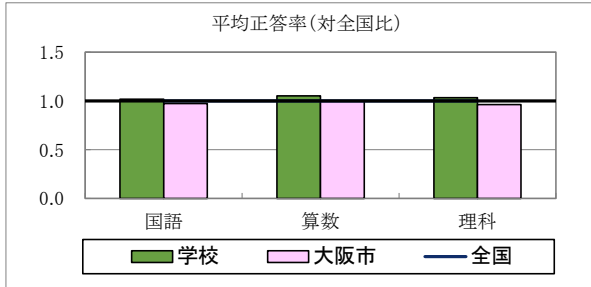
- ・反復練習（計算や漢字）を充実させるために、ICT機器を有効に活用し、デジタルドリルなどの短時間で効率のよい教材に取り組む。放課後ステップアップ学習と連携を図り、児童の基礎・基本の定着、学力向上のための課題を焦点化し、効果的な方策を考える。

- ・授業研究会やメンター研修会等の教員研修を通して、言語力の育成及び主体的・対話的で深い学びを推進する授業力の向上を進める。

【 全体の概要 】

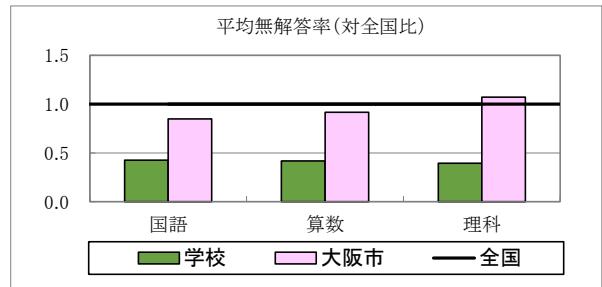
平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	68	61	59
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



平均無解答率（％）

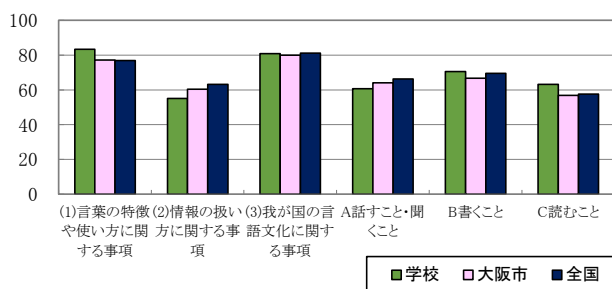
	国語	算数	理科
学校	1.4	1.5	1.1
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	83.3	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	55.1	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	80.8	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	60.7	64.0	66.3
B 書くこと	3	70.5	66.7	69.5
C 読むこと	4	63.1	56.9	57.5

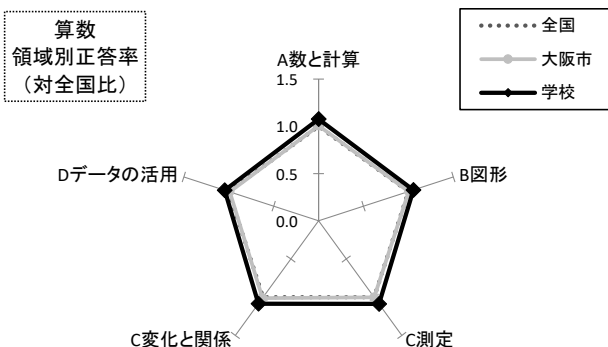
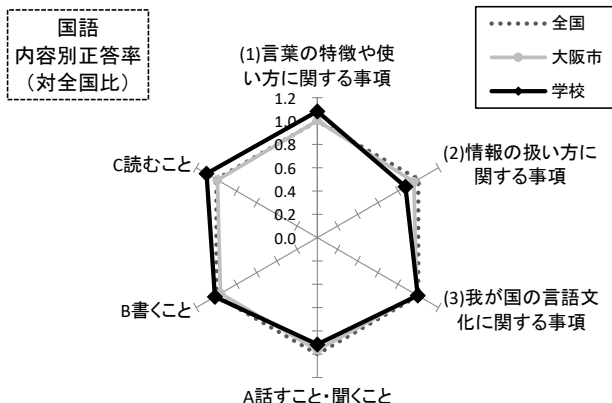
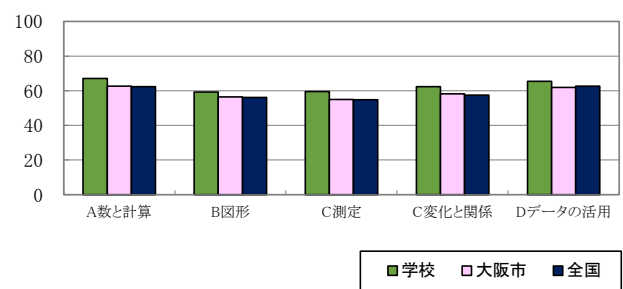
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



【 算 数 】

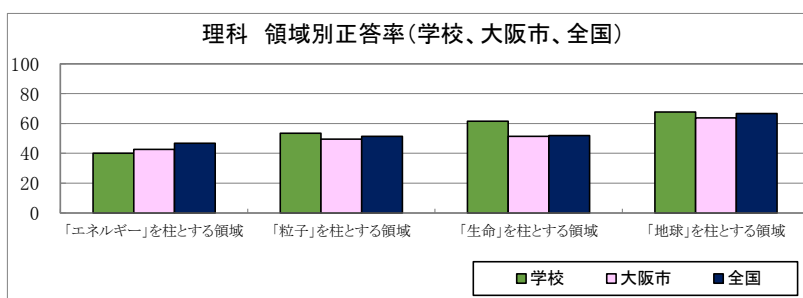
学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	67.0	62.7	62.3
B 図形	4	59.3	56.4	56.2
C 測定	2	59.6	54.9	54.8
C 変化と関係	3	62.4	58.2	57.5
D データの活用	5	65.4	61.9	62.6

算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)

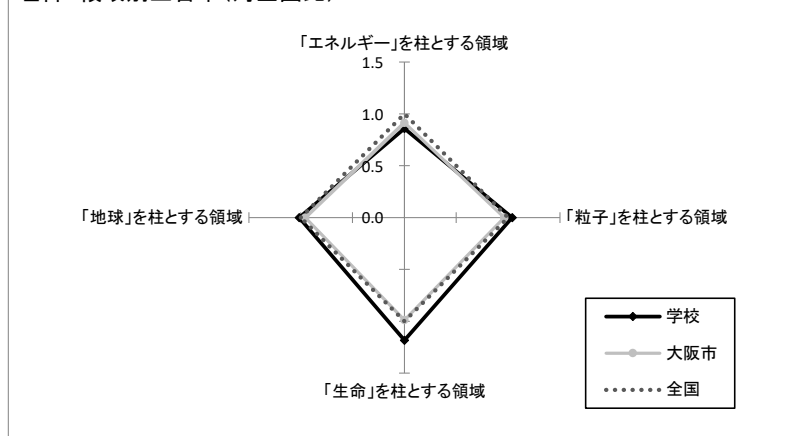


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	40.1	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	53.4	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	61.5	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	67.7	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



児童質問より

質問番号

質問事項

1

朝食を毎日食べていますか

1

2

3

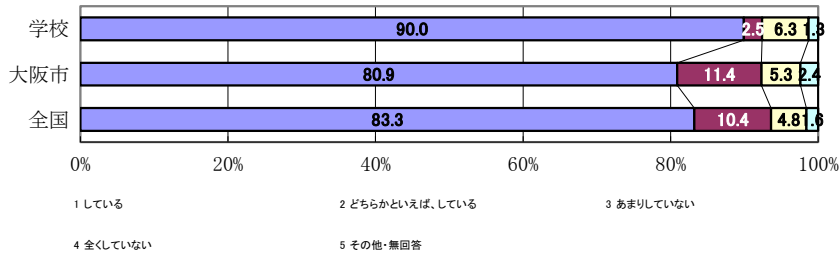
4

5

6

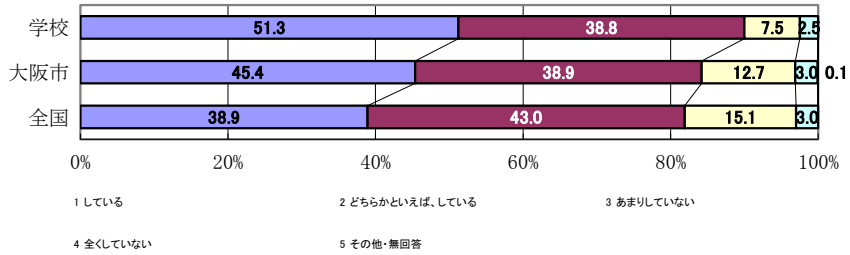
7

8



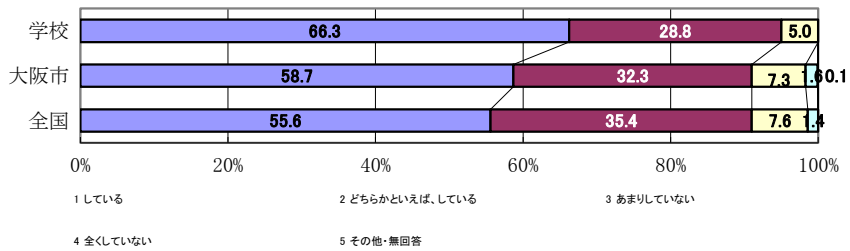
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



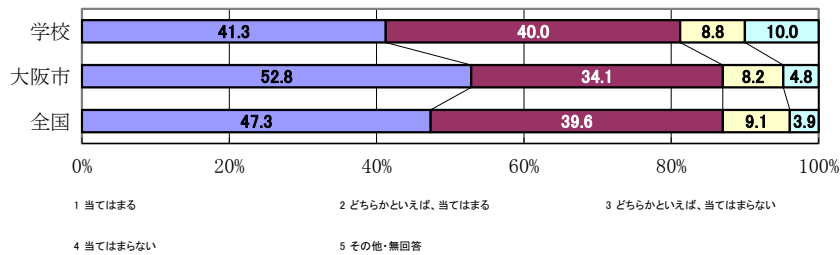
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



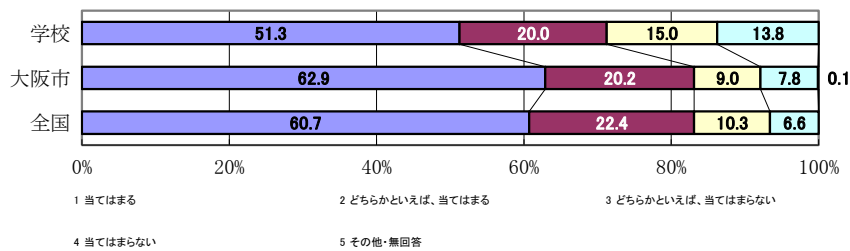
5

自分には、よいところがあると思いますか



7

将来の夢や目標を持っていますか



児童質問より

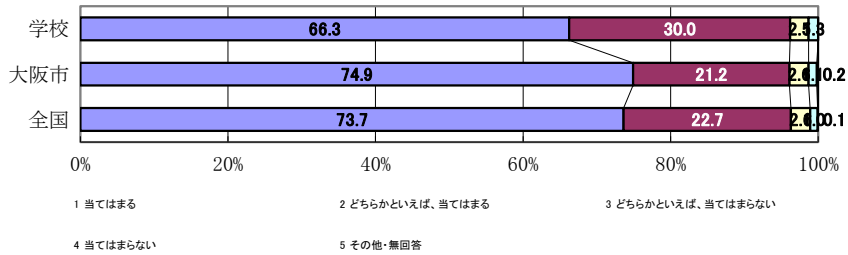
質問番号

質問事項

11

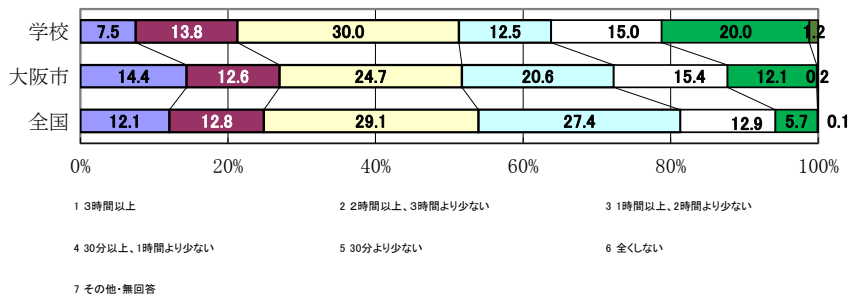
人の役に立つ人間になりたい
と思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



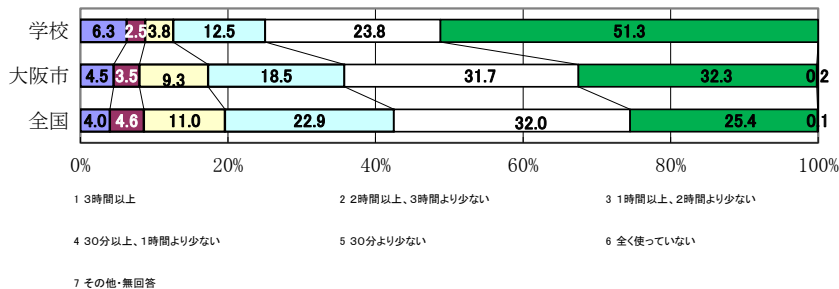
17

学校の授業時間以外に、普段
(月曜日から金曜日)、1日当
たりどれくらいの時間、勉強を
しますか(学習塾で勉強してい
る時間や家庭教師の先生に
教わっている時間、インター
ネットを活用して学ぶ時間も含
む)



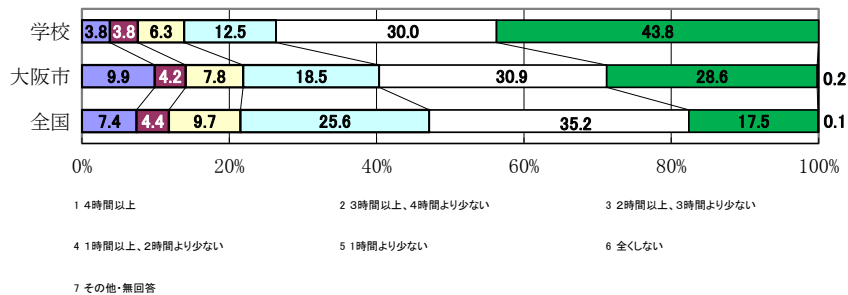
18

学校の授業時間以外に、普段
(月曜日から金曜日)、1日当
たりどれくらいの時間、PC・タ
ブレットなどのICT機器を、勉
強のために使っていますか
(遊びなどの目的に使う時間
は除く)



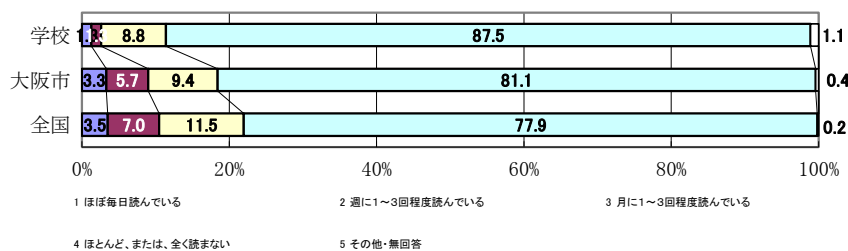
19

土曜日や日曜日など学校が
休みの日に、1日当たりどれく
らいの時間、勉強をしますか
(学習塾で勉強している時間
や家庭教師の先生に教わって
いる時間、インターネットを活
用して学ぶ時間も含む)



23

新聞を読んでいますか



学校質問より

質問番号

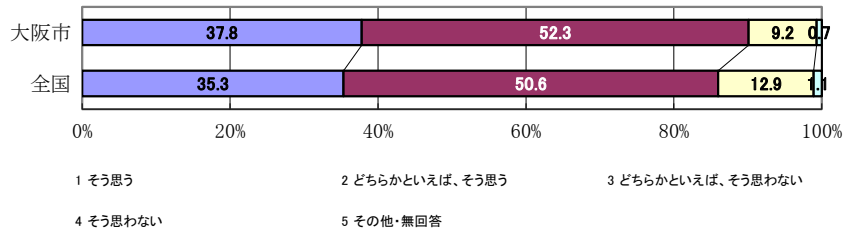
質問事項

8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか



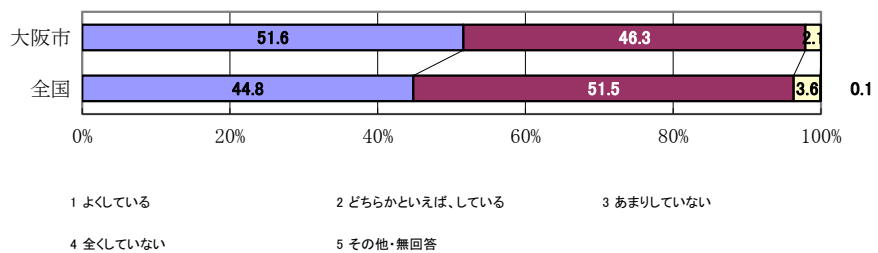
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



17

言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

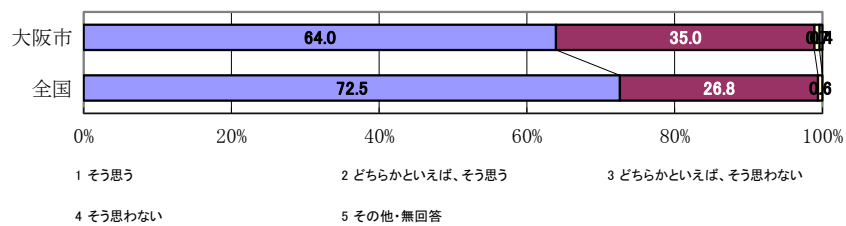
学校 「よくしている」を選択



23

教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していると思いますか

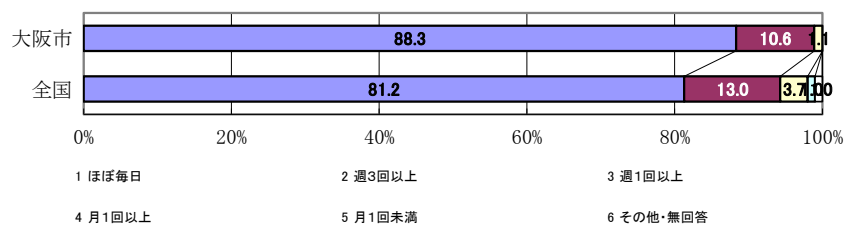
学校 「そう思う」を選択



55

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択



66

児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか

学校 「臨時休業等の非常時のみ、持ち帰ることとしている」を選択

